南種子町橋梁個別施設計画

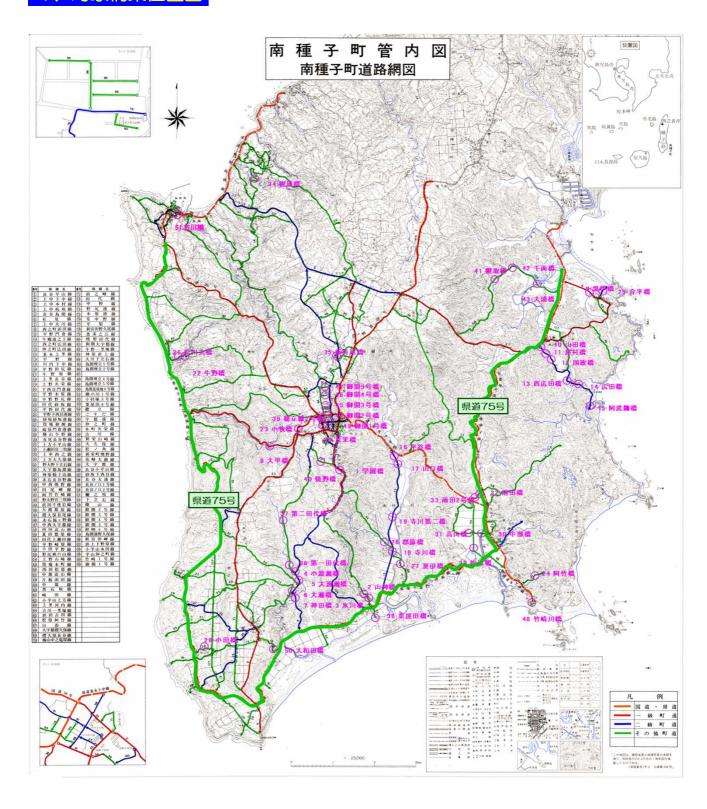


平成26年3月

(第1回:平成30年2月更新) (第2回:平成31年4月更新) (第3回:令和2年3月更新)

鹿児島県 南種子町

1. 対象橋梁位置図



2. 橋梁リスト

NO.	橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	径間 数	幅員 (m)	架設 年次	供用 年数	橋種	構造形式
1	学園橋	1級	上中下中線	70	2	12.8	2002	15	PC橋	ポステンT桁橋
2	山神橋	その他	上中下中線	7. 6	1	5. 2	1968		RC橋	床版橋(その他)
3	氷川橋	その他	上中下中線	6	1	6. 4	1957		RC橋	床版橋(その他)
4	小渡瀬橋	2級	上中本村線	3.8	1	6. 2	1982		Box	その他(RC橋)
5	大渡瀬橋	2級	上中本村線	13.7	1	8. 7	2006	11	PC橋	プレテン中空床版橋
6	大瀬橋	2級	上中本村線	5. 2	1	5. 5	1975		RC橋	床版橋(その他)
	神田橋	2級	上中本村線	13. 1	1	8. 2	2011		PC橋	プレテン中空床版橋
	大甲橋	1級	上中大川線	11.7	1	8.6	1983		PC橋	プレテン床版橋
	黒甲橋	1級	西之町浜田線	10.5	1	8	1979		PC橋	プレテン床版橋
	山田橋	2級	西之町広田線	18.6	1	7. 7	1982		PC橋	プレテンT桁橋
	屋村橋	2級	西之町広田線	5	1	17. 7	1981		Box	その他 (RC橋)
	国政橋	2級	西之町広田線	3	1	10. 3	1981		Box	その他 (RC橋)
	西広田橋	2級	西之町広田線	5. 1	1	10. 3	1981		RC橋	床版橋(その他)
	広田橋	2級	西之町広田線	14. 6	1	7. 7	1982		PC橋	プレテン「桁橋
	阿武鋤橋	2級	西之町広田線	26. 1	1	8. 2	1984		PC橋	ポステンT桁橋
	平谷橋	2級	川内下中線	6.3	1	7. 6	1981		PC橋	プレテン床版橋
	山口橋	2級	川内下中線	5.7	1	7. 2	1980		RC橋	床版橋(その他)
	寺川橋	2級	川内下中線	10	1	6. 9	1977		鋼橋	銅桁橋(その他)
	寺川第二橋	2級	川内下中線	4. 3	1	6	1977		RC橋	床版橋(その他)
	共栄橋	1級	上野共栄線	3. 9	1	13	1977		Box	その他 (RC橋)
	岩川大橋	その他	椿山牛野線	60	2	7. 7	1996		PC橋	ポステンT桁橋
	牛野橋	その他	椿山牛野線	7.4	1	5	1954		RC橋	桁橋(その他)
	小牧橋	1級	中西焼野線	8.8	1	11. 3	1988		PC橋	プレテン中空床版橋
	阿竹橋	その他	阿竹竹崎線	2	1	3	2011		Вох	その他 (RC橋)
	今平橋	2級	浜田千座岩線	7.8	1	7	1986		Вох	その他 (RC橋)
	郡原橋	その他	大曲郡原線	7	1	7	1965		Box	その他 (RC橋)
	夏田橋	その他	夏田郡原線	46. 2	3	4. 7	1972		鋼橋	銅桁橋(その他)
	小田橋	その他	小田平野線	3.6	1	14	1965		RC橋	床版橋(その他)
	松原橋	その他	雨田松原線	11	1	7. 2	1974		PC橋	プレテン床版橋
	中部橋	その他	中部高山線	28. 2	1	6. 7	1993		PC橋	ポステンT桁橋
	高山橋	その他	中部高山線	6. 9		6. 1	1970		Box	その他 (RC橋)
	雨田橋	その他	片板雨田線	19.1	1	5	1978		PC橋	プレテン「桁橋
	雨田2号橋	その他	片板雨田線	2. 9	1	5	1970		RC橋	床版橋(その他)
	<u>梶原橋</u>	その他	小平山上方線	12	1	8. 5	1992		PC橋	プレテン中空床版橋
	新有尾橋	2級	大宇都摺久保線	12.6	1	7.7	1976		PC橋	プレテン中空床版橋
	第一田代橋	その他	焼野田代線	5. 2	1	4.8	1965		RC橋	床版橋(その他)
	第二田代橋	その他	焼野田代線 亜島田8号線	5 5. 1	1	4. 9 4. 4	1965 1970		RC橋 RC橋	床版橋(その他)
	<u>栗屋田橋</u> 穂立線1号橋	その他 その他	栗屋田8号線 穂立線	4.9	1	6.4	1970		RU信 Box	床版橋(その他) その他(RC橋)
	<u>偲 </u>	その他	新栄町焼野線	11.5	1	6. 2	1975		PC橋	プレテン中空床版橋
	<u> </u>	その他	長谷大浦線	5.5	1	7.3	1975		RC橋	プレテン甲至床版稿 床版橋(その他)
	<u>蜓取侷</u> 千両橋	その他	長谷大浦線	7.6	1	7. 4	1980		RU稿 PC橋	プレテン中空床版橋
	<u> </u>	その他	長谷大浦線	26.5	1	6. 7	1982		PC橋 PC橋	プレナン中空床版稿 ポステンT桁橋
	<u>入用惱</u> 御開2号橋	その他	長台入浦線 御開2号線	3.6	1	0. <i>1</i>	1982		PC橋 RC橋	床版橋(その他)
	<u>脚囲25個</u> 御開3号橋	その他	御開3号線	2.7	1	12. 5	1980		RO/信 Box	その他(RC橋)
	<u>脚囲35個</u> 御開4号橋	その他	御開4号線	2. 8	1	12. 3	1980		RC橋	床版橋(その他)
	<u> </u>	その他	御開5号線	2.8	1	4	1980		RC橋	床版橋(その他)
	<u>岬囲3ち偏</u> 竹崎川橋	その他	竹崎1号線	4. 5	1	9.5	1980		RO/信 Box	その他(RC橋)
	<u>竹崎川橋</u> 御開1号橋	その他	御開1号線	4. 3	1	9. 5	1980		RC橋	床版橋(その他)
	<u>御囲 1 亏僴</u> 大和田橋	その他	大和田線	3.7	1	6.5	1980		RC橋	床版橋(その他)
JUI	ノゴロ	ての世	古川宮田線	7.8		6	2012		PC橋	プレテン中空床版橋

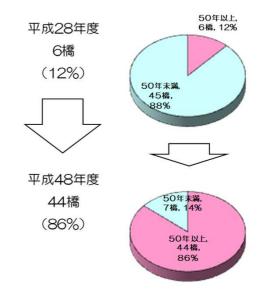
3. 現状と課題

1) 背景

本町が管理する橋梁は、平成29年度現在で51橋架設されており、特に高度経済成長期以降(1970年代以降)に建設されたものが大半である。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の12%を占めており、20年後の平成48年には、86%の橋梁が建設後50年を超えることとなる。

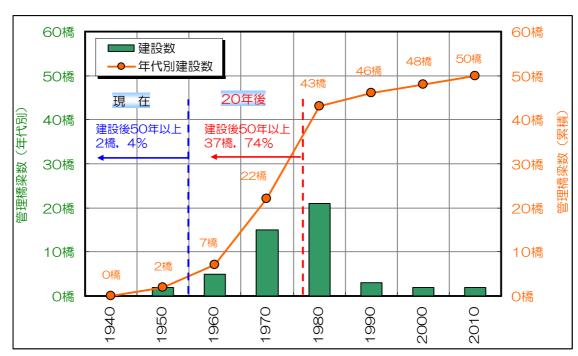
このような状況から、今後橋梁の高齢化に伴い、補修が必要な橋梁や更新時期を迎える橋梁が増加し、それに伴い補修・更新費用等の維持管理コストは増加すると考えられる。近い将来には、維持管理コストの増大と道路事業費の予算減少により、適切な維持管理が困難となり、道路利用者への安全が確保できなくなることが懸念される。



2)目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に 橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

そこで、これまでの対症療法的な維持管理から「予防保全型維持管理」への転換を図ることで、道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するとともに、効率的かつ効果的な維持管理の実現によるコスト縮減を目的とし、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。



(平成26年3月現在)

4. 点検計画及び修繕時期の設定

基本方針は、ライフサイクルコストが最小となる、

予防保全的な修繕



計画初期は損傷が生じている部材が多数あるため、これらの修繕は、予防保全とならない。

そこで、計画初期段階とそれ以降の時期を考慮し修繕計画シナリオを設定した。

<計画初期>

• 対症療法型

今ある損傷に対し、損傷が大きいものから優先して修繕する。

<左記以降の時期>

- 予防保全型タイプ I
- ・予防保全型タイプⅡ
- ・橋梁構造,規模を考慮。
- ・単年度に係る修繕費用の低減のため、 早期の段階で修繕を計画する。

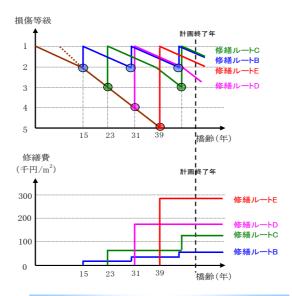


図 損傷等級の変化と ライフサイクルコストのイメージ

1) 健全度の把握の基本的な方針

定期点検や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に 発見するとともに健全度を把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

従来の日常パトロールを中心とした管理により, 異常や修繕必要箇所の早期発見に 努めるとともに, 小規模な修繕や清掃を適時行う。

- ・ 定期点検は、橋梁健全度を考慮し、5年以内に1回の頻度で実施することを基本とする。
- ・ 補修は、実施可能な範囲においてライフサイクルコストが最小となるタイミングで行う。
- ・ 補修は、予防保全的補修を基本とする。
- ・ 橋梁の更新については、建設から100年経過した時点で供用継続または架替えの検討を行う。

5. 対策優先度の設定

平成25年度に策定した修繕計画を基にして、平成29年度の定期点検結果による見直しを行った。

補修時期が単年度に集中する場合は、補修予算の確保など補修の実現が困難となることから、橋梁毎に対策優先度を設定し、補修時期の調整を行う。なお、耐震性については別途考慮し、本件では考慮しないものとする。

●優先度指数: (Xn/100) ×Yn

Xn:橋梁重要度指数(橋梁の重要度に応じた点数) Yn:橋梁損傷度評価値(橋梁の損傷度に応じた点数)

〇橋梁重要指数: $Xn = \beta 1 \cdot x + 1 + \beta 2 \cdot x + 2 + \beta 3 \cdot x + \beta 4 \cdot x + \beta 5 \cdot x + \beta$

β1, β2, β3, β4: 重み係数

x1:路線重要度評価点,x2:第3者影響度(交差状況)評価点x3:迂回路の有無の評価点,x4:周辺環境の評価点,x5:交通量

〇橋梁損傷度評価値: $Yn=\gamma1 \cdot y1+\gamma2 \cdot y2+\gamma3 \cdot y3$

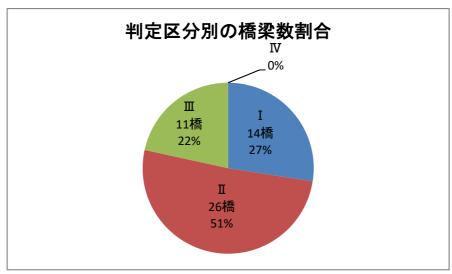
 γ 1, γ 2, γ 3: 部材重み係数, y1, y2, y3: 各部材の損傷度評価点

表7.7-1 橋梁重要度の評価項目選定表

諸元項目		細 別	概要及び適用	項目 番号	重み係数
道路状況	緊急避難経路	_	南種子町では、被災時の緊急避難経路を定めており、路線として非常に重要である。	x1	β1: 0.4
	道路区分	1級, 2級, その他	南種子町道路網整備の優先度として重要である。	XI	ρ1. 0.4
	交差状況	河川, 道路, 鉄道, その他	跨道橋が損傷した場合は,第三者被害の恐れがあるため,優先的に 対策する必要がある。なお,現状では南種子町の管理橋梁に跨道 橋,跨線橋は含まれていないが,将来的な状況を考慮し,条件として 採用した。	x2	β2: 0.3
	迂回路の有無	有り,無し	迂回路の有無は、ライフラインとしての道路網として重要である。	х3	β3: 0.1
	交通量		重要度評価項目に採用する。しかし現状ではデータ不足により評価が 系数 β 5=0.0として適用する。(交通量細別例:大,中,小など)。 将 とする。	x5	β5: 0.0
環境条件	周辺環境	塩害環境: 県道75号(西之表南種子線)より海岸線側 一般環境: 上記以外を除く区間	塩害による劣化は一般環境よりその速度が速いため優先して対策を 行う必要がある。	x4	β 4: 0.2

	区分	状 態										
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態										
П	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の 観点から措置を講ずることが望ましい状態										
Ш	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に 措置を講ずべき状態										
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている,又は生じる可能 性が著しく高く,緊急に措置を講ずべき状態										

速やかに補修を行う必要がある区分「Ⅲ」と判定した橋梁については,損傷箇所数や損傷程度を考慮し,優先的に対策を実施する。



(平成30年3月現在)

6. 状況写真



<u>点検状況</u>

主な状況



床版:遊離石灰(コールドジョイント)



床版:鉄筋露出



床版:浮き



横桁:定着部の異常



主桁:鉄筋露出



防護柵:腐食

•	31= 3 =0	阿米又为叫		2 9624			1														令和2年(2020年)3月31日 現在	
NO -		設名	路線名	種別 (※1)	架設年度 (西暦)	橋長 (m)	全幅員 (m)	管理者名		区域						· △ 修繕工事:	- I	最新点検 H36 年度	施設毎の 判定区分	対策費用 (千円)	対 策 内 容	順位
	橋梁名	フリガナ					(111)		都道府県名		H27	H28 H29	H30	H31	H32	H33 H34	H35	1100	刊足区刀	(※2)	鋼桁:RC-1塗装系+鋼板溶接, 床版:エボキシ樹脂注入材3種+ボリマーセメントモルタル+表面含浸工, P1橋脚:エボキシ樹脂注入材3種+ボリマーセメントモルタル+表面含浸工, A1・P2	
27	夏田橋	ナツダバシ	夏田郡原線	緊急避難経路	1972	46.2	4.7	南種子町	鹿児島県	南種子町	•	0				0		H29年度	П	76,252	橋脚・A2:表面含浸工,舗装:コンクリート表面保護工,支承取替,伸縮装置,防護柵取替,排水管取替	1
13	西広田橋	ニシヒロタハ゛シ	西之町広田線	緊急避難経路	1981	5	8.6	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0		H29年度	П	17,940	床板:ひび割れ注入(エポキシ樹脂3種)+断面修復エ+表面含浸エ+水切りエ、下部:断面修復エ+表面含浸工, 頂版:断面修復工(全断面吹付工法)+表面含浸エ+ 水切り工, 側壁:ひび割れ注入(エポキシ樹脂3種)+ひび割れ充填+断面修復エ+表面含浸工, 舗装:コンクリート表面保護工, 防護柵取替	2
48	竹崎川橋	タケサキカ゛ワハ゛シ	竹崎1号線	その他	1980	4.5	9.5	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0		H29年度	Ш	40,661	旧BOX部:ひび割れ注入(エポキシ樹脂3種)+ひび割れ充填+断面修復工(全断面吹付+鉄筋工)+断面修復工(左官工法)+表面含浸工+水切り工,新BOX部:ひび割れ注入(エポキシ樹脂3種)-断面修復工(左官工法)+表面含浸工+水切り工,橋面保護工	3
46	御開4号橋	オヒラキ4コ゛ウキョウ	御開4号線	その他	1980	2.76	3.95	南種子町	鹿児島県	南種子町		0						H29年度	Ш	6,794	床版:ひび割れ注入(エポキシ樹脂3種)+断面修復工(全断面吹付工法)+断面修復工(左官工法)+表面含浸工(ケイ酸系)+水切り工,舗装:コンクリート表面保護工	4
14	広田橋	ヒロタハ゛シ	西之町広田線	緊急避難経路	1982	14.6	7.7	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0		H29年度	Ш	17,930	床版・主桁:断面修復工+表面含浸工(シラン系)+水切り材設置、下部:断面修復工+表面含浸工(シラン系), 地覆:ひび割れ補修(エポキシ樹脂1種)+断面修復工+表面含浸工(シラン系), 防護柵:塗装塗替工+断面修復工, 伸縮装置取替	5
9	黒甲橋	クロコウハ゛シ	西之町浜田線	緊急避難経路	1979	10.5	8	南種子町	鹿児島県	南種子町		0	 			0		H29年度	ш	13,884	床版・主市:ひび割れ補修(エポキシ樹脂1種・ポリマーセグトモルタル)・断面修復エ・表面含浸エ・水切り材設置、防護柵:ひび割れ補修(エポキシ樹脂1種)・断面修復 エ、地震:ひび割れ補修(エポキシ樹脂1種)・断面修復エ・表面含浸エ、舗装:コンクリート表面保護工、仲稿装置、排水管設置	6
15	阿武鋤橋	アプスキバシ	西之町広田線		1984	26.1	8.2	————— 南種子町	鹿児島県	南種子町			1_					H29年度	ш	40.049	主桁・横桁・地覆:断面修復工(左官工法(連塩モルタル+防錆ペースト)),表面保護工(シラン系含浸材),下部:断面修復工(左官工法(連塩モルタル+防錆ペース	7
13	大浦橋	オオウラハ゛シ	長谷大浦線	その他	1982	26.5	6.7	南種子町	鹿児島県	南種子町		0	_			0		H29年度	π	33,945	ト)),表面保護工(シラン系含浸材),支承・表面保護村、防護柵:高欄取替工,舗装:橋面防水工・アスファルト舗装工,伸縮装置取替工,排水装置取替工 主桁・機桁・地覆・断面修復工(左官工法(遮塩モルタル+防錆ペースト)),表面保護工(シラン系含浸材),下部:断面修復工(左官工法(遮塩モルタル+防錆ペース	
10												0	•	 		0				10.014	ト)),表面保護エ(シラン系含浸材),防護柵:高欄補修工(3種ケレン),舗装・橋面防水エ・アスファル・舗装工,伸縮装置取替工,排水装置取替工 床版:断面修復工(左官工法),表面保護工(ケイ酸塩系),下部・ひび割れ注入工(エポキシ樹脂),断面修復工(左官工法),表面保護工(ケイ酸塩系),地種:ひび	
3	氷川橋	コオリカワハ・シ		緊急避難経路	1957	5.25		南種子町 	鹿児島県	南種子町		0	•	 _ 		0		H29年度	_ ш	10,314	割れ注入工(エポキシ樹脂),断面修復工(左官工法),表面保護工(ケイ酸塩系), 遮水性舗装工, ガードレール 防護柵取替工, 区画線	9
11	屋村橋	オクムラハ゛シ	西之町広田線		1981	5	9.76	南種子町	鹿児島県	南種子町		0	•			0		H29年度	Ш	3,998	頂版: ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 地震: 断面修復工(左官工法), ガードレール防護補取替工	10
28	小田橋	オダハジ	小田平野線	緊急避難経路	1965	3.7	13.9	南種子町	鹿児島県	南種子町		0	•			0		H29年度	Ш	8,439	床版:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 下部:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 表面保護工(ケイ酸塩系), 地 覆:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), ガードレール防護柵取替工	11
32	雨田橋	アマダバシ	片板雨田線	その他	1978	19.1	5	南種子町	鹿児島県	南種子町		0	•			0		H29年度	Ш	25,051	主桁・機桁・地覆・断面修復工(左官工法(遮塩モルタル+防錆ペースト)),表面保護工(シラン系含浸材),下部:断面修復工(左官工法(遮塩モルタル+防錆ペースト)),表面保護工(シラン系含浸材),支承・表面保護材,防護栅:高欄取替工,舗装:橋面防水工・コンクリート舗装工,伸縮装置取替工,排水装置取替工	12
18	寺川橋	テラカワハ゛シ	川内下中線	緊急避難経路	1977	10	6.9	南種子町	鹿児島県	南種子町				-				H29年度	ш	67,274	床版:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 表面保護工(ケイ酸塩系), 主桁:支点部補強工, RC-1塗装系, 下部:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 胸壁改修, 地覆:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 表面保護工(ケイ酸塩系), 舗装:コン川-ト表面保護、支	13
-					1000		0.7					0		•		0				00.740	承取替,排水管設置,伸縮装置取替,水切設置 主析・模析・床版:断面修復工(左官工法),表面保護工(シラン系ケイ酸混合型),下部:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂),表面保護工(シラン系ケイ酸混合型),地覆:	
30	中部橋	ナカヘ・ハシ	中部高山線	その他	1993	28.2	6.7	南種子町	鹿児島県	南種子町		0		•		0		H29年度	Ш	39,713	断面修復工(左官工法),表面保護工(シラン系ケイ酸混合型),ひび割れ注入工(エポキシ樹脂),舗装・橋面防水(塗膜系),伸縮装置取替,高欄塗替塗装,排水装置 塗替	14
6	大瀬橋	オオセハ゛シ	上中本村線	2級	1975	5.2	5.5	南種子町	鹿児島県	南種子町		0			•	0		H29年度	Ш	10,000		15
2	山神橋	ヤマカ゛ミハ゛シ	上中下中線	緊急避難経路	1968	7.6	5.2	南種子町	鹿児島県	南種子町		0		oxdot	•	0]	H29年度	I	9,000		16
19	寺川第二橋	テラカワダイニハシ	川内下中線	緊急避難経路	1977	4.3	6	南種子町	鹿児島県	南種子町		0			•	0		H29年度	I	8,000		17
31	高山橋	タカヤマハ゛シ	中部高山線	その他	1970	6.9	6.1	南種子町	鹿児島県	南種子町		0			_	0		H29年度	I	13,000		18
37	第二田代橋	ダ゛イニタシロハ゛シ	焼野田代線	その他	1965	5	4.9	南種子町	鹿児島県	南種子町		0			_	0		H29年度	I	9,000		19
39	恵立線1号橋	ホタテセン1コ・ウキョウ	穂立線	その他	1977	4.9	6.35	南種子町	鹿児島県	南種子町					•		<u> </u>	H29年度	I	8,513		20
40	御開1号橋	オヒラキ1コ・ウキョウ	御開1号線	その他	1980	1.1	1	南種子町	鹿児島県	南種子町		0		+ +		00		H29年度	п	8,049		21
47					1980	2.8	4					0				○●		H29年度	<u>π</u>	9,397		22
47	御開5号橋	オヒラキ5コ・ウキョウ	御開5号線	その他		2.0	- 4	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0•			_ <u>_</u>			
35	新有尾橋	シンアリオバシ	大宇都摺久保線		1976	12.6	1.1	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0		H29年度	П	12,457		23
42	千両橋	センリョウハ゛シ	長谷大浦線	その他	1980	7.6	7.4	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0•		H29年度	п	8,397		24
12	国政橋	クニマサハ゛シ	西之町広田線	緊急避難経路	1981	3	10.3	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0		H29年度	П	8,484		25
16	平谷橋	ヒラタニハ゛シ	川内下中線	緊急避難経路	1981	6.3	7.6	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0•		H29年度	П	15,355		26
10	山田橋	ヤマダバシ	西之町広田線	緊急避難経路	1982	18.6	7.7	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0•		H29年度	п	12,336		27
8	大甲橋	オオコウハ゛シ	上中大川線	1級	1983	11.7	8.6	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0•		H29年度	П	8,135		28
17	山口橋	ヤマグチバシ	川内下中線	緊急避難経路	1980	5.7	7.2	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0.	_	H29年度	п	8,136		29
41	鍵取橋	カキ゛トリハ゛シ	長谷大浦線	その他	1975	5.5	7.3	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				00		H29年度	п	8,803		30
33	雨田2号橋	アマダ・2コ・ウキョウ	片板雨田線	その他	1970	2.9	5	————— 南種子町	鹿児島県	南種子町		Ŭ				0		H29年度	п	8,295		31
45	御開3号橋	オヒラキ3コ゚ウキョウ	御開3号橋	その他	1980	2.7		南種子町	鹿児島県			0				0	•	H29年度	I	8,344		32
10	小渡瀬橋	コワタセハ・シ	上中本村線	2級	1982	3.8		南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0	•	H29年度	I	8,442		33
25		-				7.8	 					0				0	•					34
25	今平橋	イマヒラハ・シ	浜田千座岩線	2級	1986	7.8	/	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0	•	H29年度	II -	9,095		
26	郡原橋	コオリハ・ラハ・シ	大曲郡原線	その他	1965	7	7	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0	•	H29年度	I	9,653		35
36	第一田代橋	ダイイチタシロバシ	焼野田代線	その他	1965	5.2	4.8	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0	•	H29年度	П	8,692		36
22	牛野橋	ウシノバシ	椿山牛野線	その他	1954	7.4	5	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0	•	H29年度	I	8,687		37
21	岩川大橋	イワカ・ワオオハシ	椿山牛野線	その他	1996	60	7.7	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0		H29年度	I	822		38
38	栗屋田橋	クリヤタハシ	栗屋田8号線	その他	1970	5.1	4.4	南種子町	鹿児島県	南種子町	L	0		<u> </u>]	0	[H29年度	I	822		39
1	学園橋	カ゛クエンハ゛シ	上中下中線	緊急避難経路	2002	70	12.8	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0		H29年度	I	822		40
40	焼野橋	ヤキヤハ゛シ	新栄町焼野線	その他	1975	11.5	6.2	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0		H29年度	I	822		41
29	松原橋	マツハ゛ラハ゛シ	雨田松原線	その他	1974	11	7.2	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0		H29年度	I	822		42
20	共栄橋	キョウェイハ・シ	上野共栄線	緊急避難経路	1977	3.9	12.95		鹿児島県	南種子町		0						H29年度	I	822		43
44	御開2号橋	オヒラキ2コ゚ウキョウ		その他	1980	3.55		南種子町	鹿児島県	-				 		0		H29年度	I	822		44
5		オオワタセハ・シ	上中本村線	2級	2006	13.7		南種子町	鹿児島県	南種子町	 	0		+ +		0		H29年度	T	822		45
<u> </u>	大渡瀬橋	-				8.8	 				-	0				0			1			45
23	小牧橋	コマキハ・シ	中西焼野線	1級	1988			南種子町 	鹿児島県	+		0				0		H29年度	1	822		
1	神田橋	カンダ・バ・シ	上中本村線	2級	2011	13.1		南種子町	鹿児島県		1	0				0		H29年度	I	822		47
34	梶原橋	カシ゛ハラハ゛シ	小平山上方線	その他	1992	12		南種子町	鹿児島県			0				0		H29年度	I	822		48
50	大和田橋	オオワダバシ	大和田線	その他	1980	3.7	6.5	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0		H29年度	I	822		49
24	阿竹橋	アタケハ・シ	阿竹竹崎線	その他	2011	2	3	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0		H29年度	I	822		50
51	古川橋	フルカワハ゛シ	古川宮田線	その他	2013	7.8	6	南種子町	鹿児島県	南種子町		0				0		H29年度	I	822		51
									事費合言		1	18 4			60	27 25	27	30			整難経路は、町地域防災計画による指定路線を示す。	
-									費用 合言	計 (百万円) 計 (百万円)	1	2		17	24	24 20 21	28			※2:対策	費用は、調査設計委託費を含む。 幸央美色体配は、事業空フ/測試・工事)をデオ	
								点 快		計(百万円)		18 7	+	96	84	51 66	55	30 638.136		632,022	黄色着色箇所は, 事業完了(測試+工事)を示す。	
									н Р	(=/313/		, , , ,	-	+ 15 -		l l	50	55		,022		